

今冬は、記録的な暖冬で青森市は特に雪が少なく、雪掻きに追われる日々が少ないのは助かりますが、世界的な天候不順がその先にあるかもしれないと思うと、環境問題は、待ったなしですね。また、長期に渡るインフルエンザの流行と新型コロナウイルス感染の拡大も気になりますが、日常の手洗い・うがいを励行し感染症の予防に努めましょう。

令和元年度青森県栄養教諭・学校栄養職員冬季研修会

1月7日(火)青森県総合社会教育センターで開催されました。

午前は「心ゆたかな人生を過ごすための仕事への向き合いかた」の演題で、高野山真言宗 浅虫高野山 陸奥護国寺 今 彩光副住職による講演がありました。修行中の^{しきじ}食事作法や、食に繋がることとして精進とは、謙虚な人とは、日常の五心など、心に響く講話に参加者は皆、聞き入っていました。



また、昼には県産食材を使用した学校給食向け加工品の試食が行われ、参加者は加工品の特徴等を確認しながら試食し、アンケートに答えていました。

午後の部が始まる前には、青森県消費生活センターの増田あけみ氏から、様々な詐欺被害による青森県の現状と被害例を示しながら、マスコットキャラのテルミちゃんと共に、詐欺被害にかからないための注意と、おかしいと思ったら消費生活センターへ連絡を、とのお話がありました。



その後、全国大会等の研修会への派遣者による伝達講習、県教育庁スポーツ健康課 川井指導主事による「最新情報について」、学校給食会 坪田課長による「学校給食用物資の動向について」の説明がありました。



講義Ⅱは、武庫川女子大学短期大学部幼児教育学科 藤本勇二 准教授による「主体的・対話的で深い学びを実現する食の授業」がありました。食に関する指導の際に、実際に使用されている教材を多く示しながら、指導を行う際のヒントに繋がる講義に、参加者はスクリーンにくぎ付けになりながら、熱心にメモを取っていました。

令和元年度学校給食センター所長会議

1月14日(火)、青森県総合社会教育センターで開催されました。

開会の後、県教育庁スポーツ健康課川井指導主事による「令和2年度学校給食の動向について」と県学校給食会坪田課長による「令和2年度物資予想価格並びに事業について」の説明がありました。午後からは、東北女子大学 教授 西田 由香氏を講師に「青森県に今、必要な食育は？」の講演が行われました。青森県は糖尿病が多いが、なってからどうするかよりも重要なのは、「病気になること」であり、そのために食育が必要である。食に関する情報が多くあふれている中で、根拠のある正しい情報は、食育でこそ得られるとの内容を、抗酸化パワーが目でも見て分かる実験を交える等、分かりやすく話され、時間もアツという間に過ぎました。

その後、研究協議が行われ、1つ目は、令和2年度の給食費の動向について、12月末の事前調査結果をもとに各センターの状況が報告され、値上げを予定している施設は、44ヶ所のうち3ヶ所ありました。2つ目は質問事項で、調理業務委託を実施している施設に対し委託するメリットについてと、給食費の決定方法についてがあり、それぞれについて、対象となる施設が回答しました。

青森県学校給食センター連絡協議会は、令和2年度に設立50周年を迎え、記念行事の開催を予定しているとのことです。

物資細菌検査結果について

◆1月に入庫した物資の細菌検査結果は、一般生菌・大腸菌群及び大腸菌・黄色ブドウ球菌について検査したところ、いずれも問題ありませんでした。なお、検査した製品は次の8品です。

白和えの素	白花豆コロッケ 40g	冷凍オクラ(スライス)
さわら西京焼き 40g	バナメイえびフライ(21/16)	給食週間フルーツゼリー40g
CaMg パテ キャラメル	味付ゆで卵	

～ひとことメモ📌～

インフルエンザを始めとする感染症には、効果的な予防対策として「感染症予防の3原則」があります。

- 1 感染源の排除 ⇒ 近づかない、触らない、清掃・洗浄、消毒など
- 2 感染経路の遮断 ⇒ 持ち込まない、持ち出さない、拡げない
- 3 健康・免疫の管理 ⇒ 栄養、睡眠、休息など